

地域資源の活用による 都市・地域更新の手法

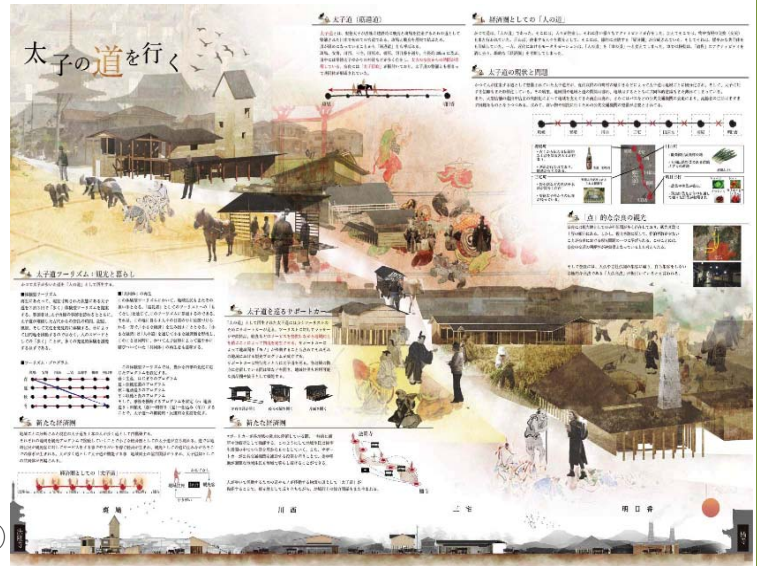
本田 昌昭 (ほんだ まさあき)
 工学部 建築学科 教授



用途・応用分野：地域活性化、コミュニティ再生、景観保全

■ 研究シーズ概要

現在、日本は拡大・成長の時代から、縮小・成熟の時代へと突入したと言える。もはや、スクラップ・アンド・ビルドによる都市更新の時代ではない。本研究室では、これからの時代における都市更新の手法について研究を行っている。身の回りに多く蓄積された「建築ストック」の活用を前提とし、さらには、成長の時代に蔑ろにされながらも命脈を保っている「地域性」を発見・増幅することによって、これからの「共同体」のあり方についても研究・提案を行っている。



● 奈良・太子道エリアに関する調査・提案
 (2018年度日本建築学会大会において発表)

■ 研究シーズの特徴

本研究室は、近代建築を中心とした歴史的建造物、さらには設計・デザイン手法の研究を長年積み重ねてきた。本研究シーズは、その研究的成果の実践と位置付けられる。

- ① 建築史研究を基盤とした「徹底したリサーチ」とそれに基づく提案
- ② 建築理論や設計・デザイン手法の研究成果に基づく「デザイン提案」
- ③ 実践者（研究者、まちづくりの実践者、建築家、職人）との連携

